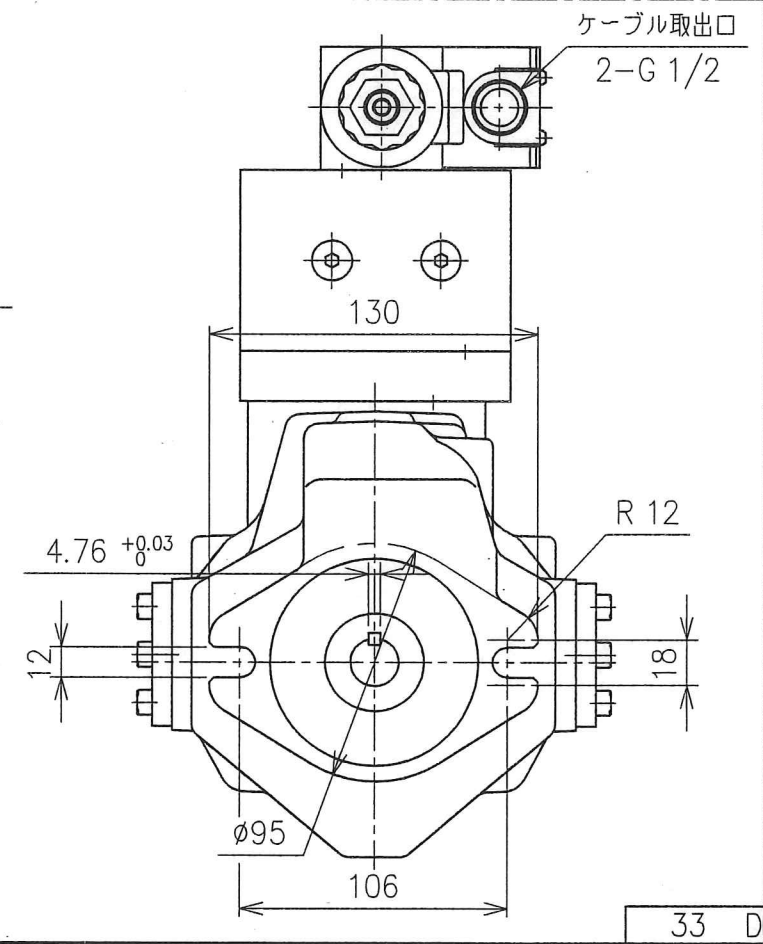
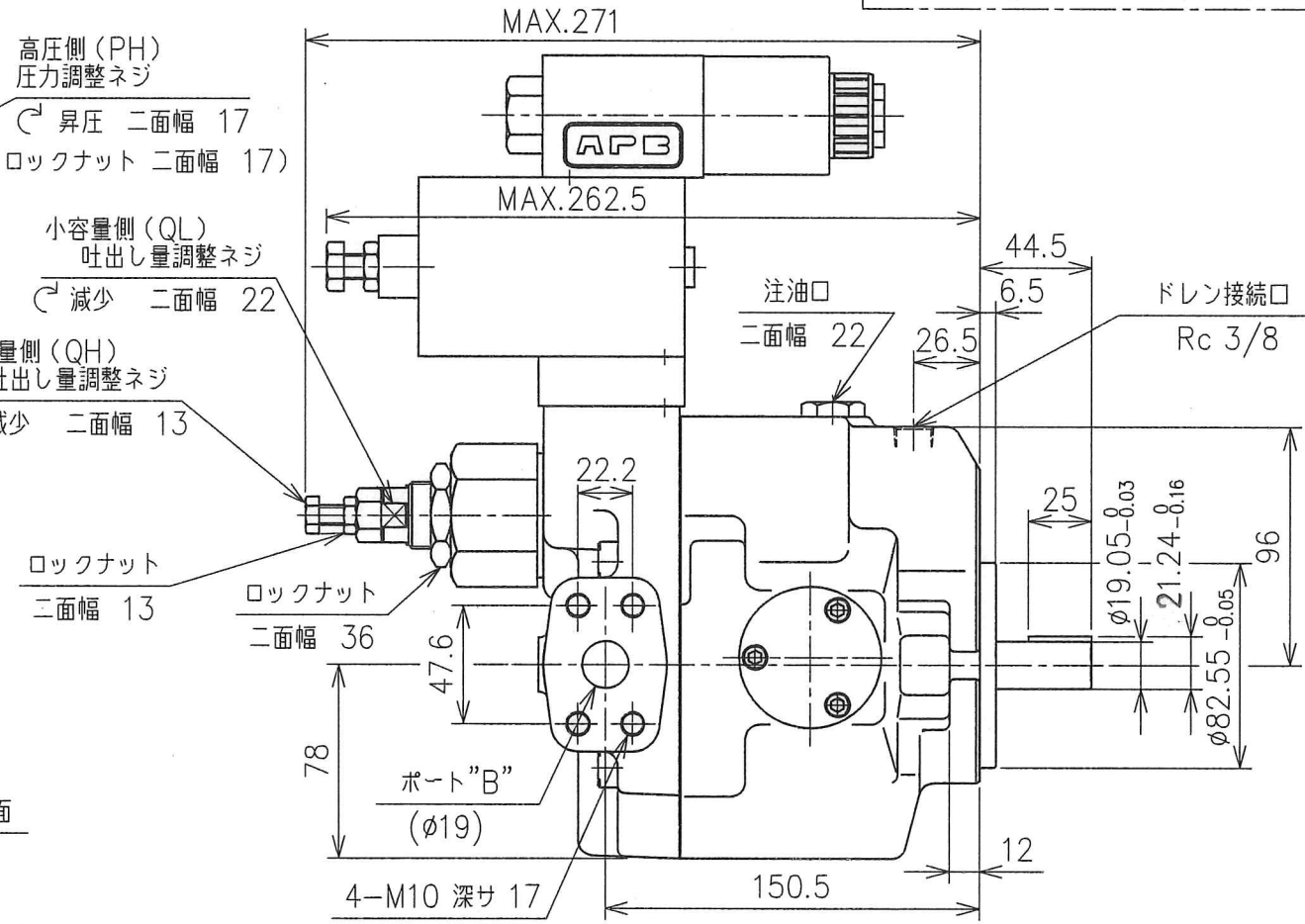
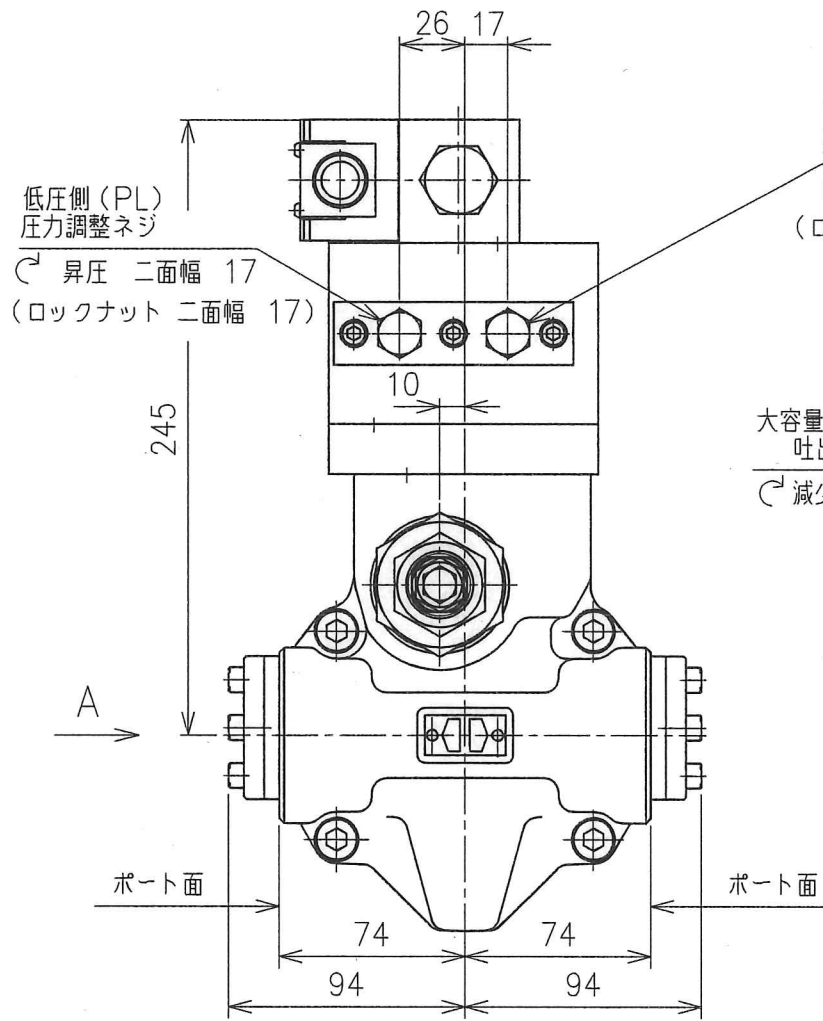
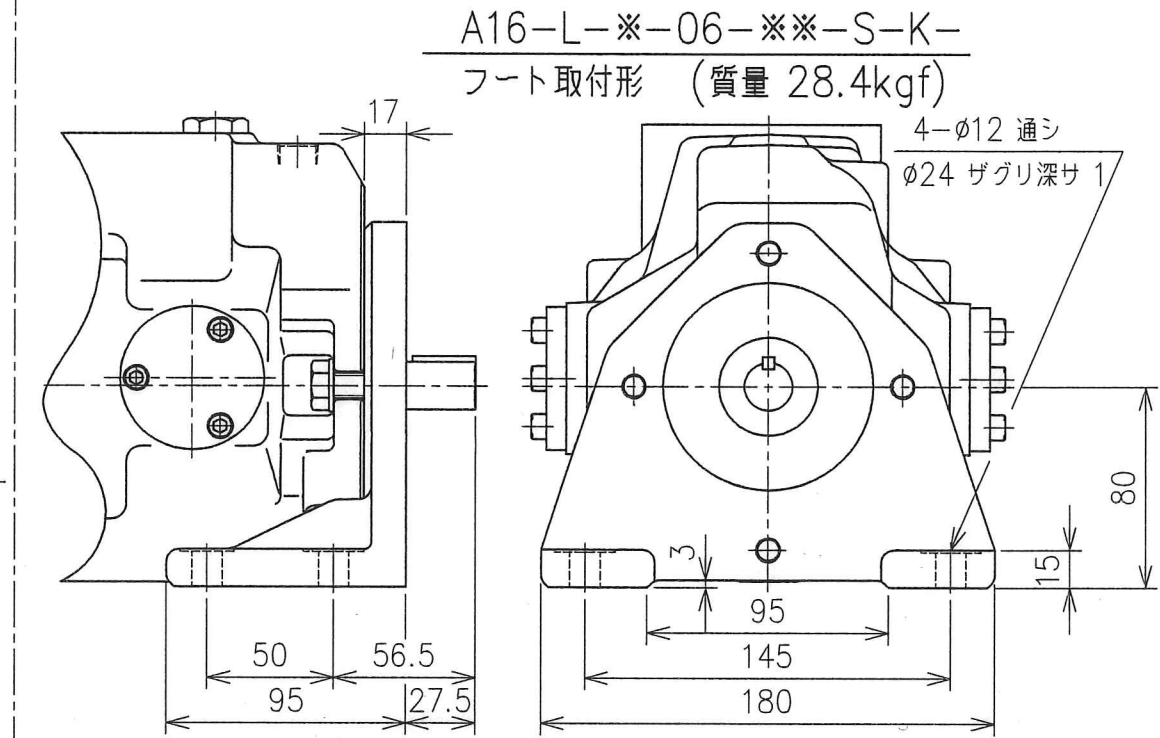
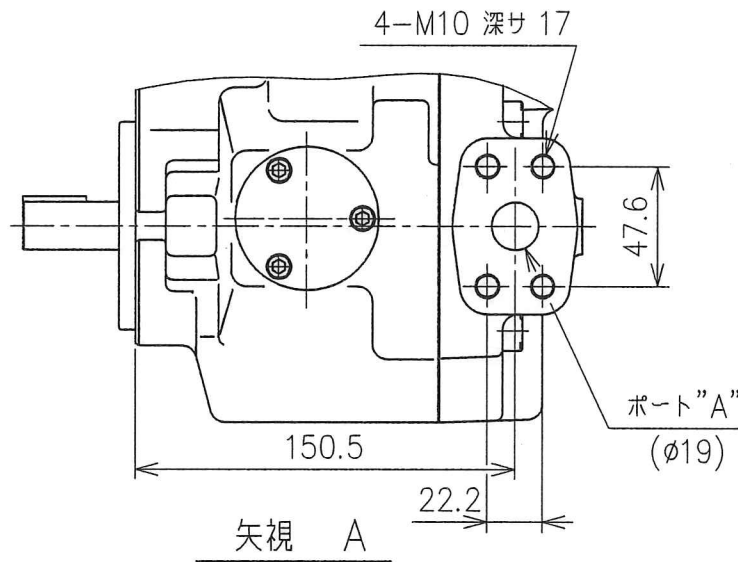


NOTES

- 1, 管フランジ取付け面は SAE J 518 4ボルト スプリットフランジに準拠します。
- 2, ポンプには管フランジキットが付属されておりません。ご使用の際には下記によりご注文ください。

対応するポート	呼び口径	ねじ込み形管フランジ	溶接形管フランジ
吸込みポート	3/4	F5-06-A-10	F5-06- $\frac{B}{C}$ -10
吐出しポート	3/4	F5-06-A-10	F5-06-C-10



A16-F-**-06-**-S-K-
フランジ取付形 (質量 26.2kgf)

回転方向とポート

ポート	"A"	"B"
R(右)回転	吸込み	吐出し
L(左)回転	吐出し	吸込み

安田 P02-0214/15 全	DATE	'02-3-22	DRAWN	横山	YUKEN KOGYO CO., LTD.	
	APPROVED	橋本	CHECKED	河原		MODEL NO.
	REVISIONS	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION			A16-**-**-06-**-S-K-☆-33	
	FILE NO.	1303G			NAME	A16形可変ピストンポンプ 電磁弁式2圧2容量制御
					DWG NO.	PA314524-0-1 (1/2)

仕様

理論押しおけ容積	15.8	cm ³ /rev
最高圧力	21	MPa
定格圧力	16	MPa
回転速度範囲	600~1800	r/min

使用油

ISO VG 32 または 46相当の石油系作動油

粘度範囲

20~400 mm²/sec

油温範囲

0~60 °C

ただし、上記粘度範囲にご注意ください。

吐出し流量調整範囲 (QH>QL)

QL: 2.6~11.1 cm³/rev

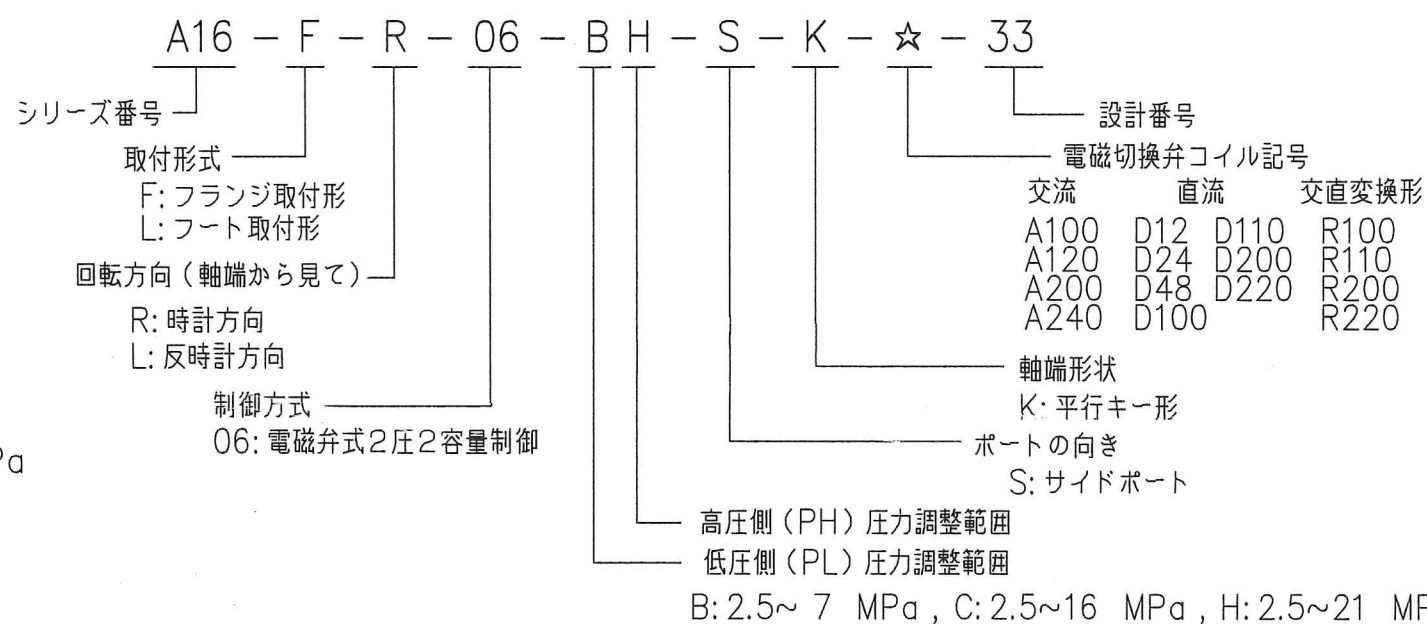
QH: 2.6~15.8 cm³/rev

圧力調整範囲 (PH>PL)

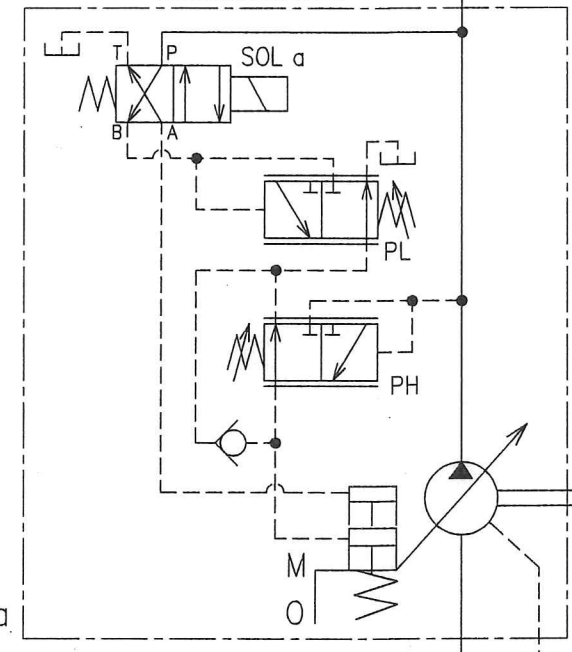
PL 2.5~21 MPa

PH 2.5~21 MPa

モデル番号の構成

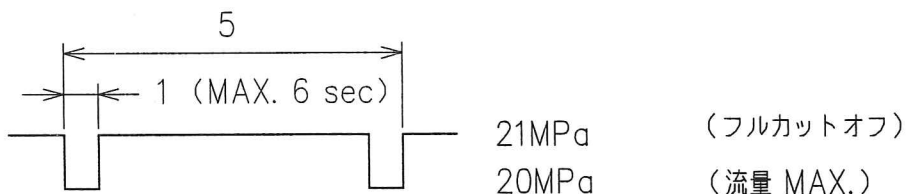


油圧図記号



使用上の注意

- ポンプは、注油口の位置が上になるように据付けてください。軸接続の際はフレキシブルカップリングを使用し、軸には曲げ荷重およびスラスト荷重がかからないようにしてください。(直接歯車やベルトで駆動しないでください。)なお、駆動軸とのズレがTIR. 0.1mm、角度誤差 0.2°を越えないようにしてください。
- 吸込み圧力はポンプ入口にて、-16.7kPa~+50kPaにしてください。
- 鋼管配管の場合、配管によりポンプに無理な力がかからないように注意してください。
- ドレン配管は、下記を目安にして、他の戻りラインと合流せずに単独で行ない、端末を必ず油中に入れてください。
配管継手サイズ — R 3/8 (内径 φ8.5 以上)
配管内径 — 10 以上
配管長さ — 1m以下
上記条件を満足しない場合でもハウジング内圧力が定常状態圧力 0.1 MPa以下、かつサージ圧力 0.5 MPa以下になるようにしてください。
- 作動油の汚染管理には十分注意を払い、汚染度は NAS 10級以内にしてください。なお、吸込みラインには、100ミクロン(150メッシュ)のフィルタを、吐出しラインまたは戻りラインには、10ミクロン以下のフィルタをご使用ください。
- ポンプ初期運転前には必ず注油口から油圧油をハウジング内に充填してください。なお、運転開始時には吐出しラインを無負荷にしてポンプを始動し、正常に油を吸込むことを確認してください。
- 初期あるいは長時間運転休止後に運転する場合には、油を吸込みにくいことがありますので、あらかじめ吐出し側に空気抜き弁(モデル番号: ST1004-5-10)を設けておくか、または吐出し側の接続をやや緩めて空気抜きを行なってください。
- ポンプ内部および管路内に空気が混入していると振動発生の原因になりますので、空気抜きは完全に行なってください。
- 最高圧力はフルカットオフ圧力を示します。定格圧力を越えてご使用の場合は使用条件に制限があります。下図のような条件でご使用の際は最大吐出し運転時間が運転サイクルの 1/5 以内、かつ6秒以内になるようにしてください。なおこの条件は使用圧力吐出し量(斜板傾き角)等により異なりますので詳しくは別途お問合せください。



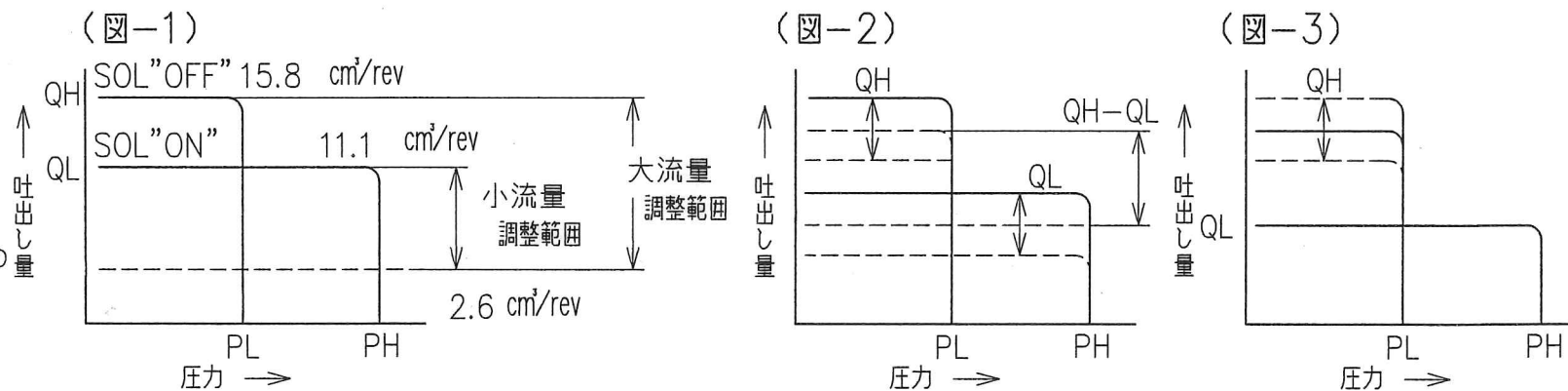
- ポンプを油面より上部に設置する場合は、吸込みラインの空気だまりを防止するため吸込み配管およびサクシオンラインフィルタはポンプのポートより高くしないでください。なお、吸込み側の配管は適合する管フランジの口径そのものを使用し、吸込みポートの高さは油面から 1m 以内にしてください。

吐出し量の設定方法

出荷時の吐出し量QL, QHは最大にしてあります。(図-1参照) 所要吐出し量の設定は下記手順で行って下さい。

- 小容量調整ねじを回し、QLを所要の値に設定します。なお、このときQHもQLとの流量差(QH-QL)を一定に保って変化します。(図-2参照) 注) QLは圧力が2.5MPa以上でなければ調整できません。
- 大容量調整ねじを回し、QHを所要の値に設定します。なお、このときQLは変化せず上記1項で設定した値が保たれます。(図-3参照)

大容量調整ねじ・・・1.19 cm³/rev 小容量調整ねじ・・・1.43 cm³/rev



注1) 高圧側 (PH) と低圧側 (PL) の圧力設定は必ず PH > PL になるよう設定してください。

安田	SIGN	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
		APPROVED	CHECKED	
P02-0214/15	REVISIONS	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		NAME
		FILE NO.	DWG NO.	
AXI	SYM	1303G		PA314524-0-1 (2/2)